



2009年10月20日

報道関係者各位

慶應義塾大学

**オランダ王国プラステルク教育・文化・科学大臣を迎えての『連携調印式』と
研究プロジェクトデモンストレーションのご案内（10月26日日吉キャンパス）**

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、SDM）同メディアデザイン研究科（以下、KMD）は、慶應義塾創立150年にあたる2008年4月に設立された最も新しい大学院です。加速度的に技術革新が進むグローバル社会において、新しい知識、技術、専門性を有し、世界を舞台にリーダーシップをとることのできる人材を育成することを目指しています。このたび、オランダ王国プラステルク教育・文化・科学大臣が日吉キャンパスに来校されることになり、両大学院の研究内容を見学・体験されることになりました。なお、10月15日既出のリリースの通り、両大学院がオランダ王国のデルフト工科大学技術マネジメントおよびポリシー研究科、アイントホーフェン大学産業デザイン研究科とそれぞれ連携協定を結ぶことになり、当日はその調印式も行います。

慶應義塾大学で最も新しい大学院での取り組みをご取材いただきたくご案内申し上げます。

1. スケジュール、概要

- (1) 日時： 2009年10月26日(月)11:45～12:45（詳細は別途）
- (2) 会場： 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館3階ほか
（交通アクセス <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>）
- (3) 来賓： オランダ王国教育・文化・科学大臣Dr. Ronald Plasterk（ロナルド・プラステルク）
- (4) プログラム：

11:45	プラステルク教育・文化・科学大臣 日吉キャンパス到着
11:50 - 12:10	研究プロジェクトデモンストレーション（協生館1階からスタート）
12:15	協定調印式開式（同3階 CDF ルーム） 挨拶：慶應義塾長 清家 篤
12:20 - 12:30	講演：プラステルク教育・文化・科学大臣（予定）
12:30	協定書署名（フォトセッション有り）
12:40 - 12:45	挨拶：デルフト工科大学学長 ヤーコップ・フォッケマー

調印式の詳細につきましては、既にご案内（10月15日付）させていただいております、プレスリリースをご参照ください。また、慶應義塾サイトでもご覧いただけます。

http://www.keio.ac.jp/ja/press_release/2009/kr7a43000001xbkn.html

2. 研究プロジェクトデモンストレーションおよび展示物の概要

【SDM デモンストレーション】

タイトル : 宇宙技術を活用した屋内 - 屋外の位置情報プラットフォーム

研究代表者: 神武 直彦 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
SDM研究所准教授



携帯ディスプレイのイメージ図

内容: カーナビゲーション等の位置情報サービスは、GPS (Global Positioning System) 衛星からの電波が届かない屋内では利用できないことが大きな課題ですが、GPS 衛星と同等の信号を発する送信機を屋内に複数配置することで、屋外のみならず屋内、さらには、屋外 - 屋内の双方向移動に対しても継ぎ目なく、同一の GPS 受信機を使って位置情報サービスを提供することが可能となります。今後、GPS 搭載携帯電話が普及することを想定し、屋外 - 屋内の双方向移動を継ぎ目なく誘導するパーソナルナビゲーション、さらには、屋内の位置情報や環境情報、利用者特性に従って、携帯電話がその役割・機能を自己認識する技術の展示を行います。将来的には、屋外 - 屋内の迅速かつ正確な誘導がその鍵となる災害時の避難や救助活動といった公共サービスでの利用や、顧客の現在位置に応じた店舗誘導や販売促進活動といった商業サービスでの利用等が大いに期待されます。

【SDMデモンストレーション】

タイトル : ネットワーク没入仮想環境を用いた地震データの可視化

研究代表者: 小木 哲朗 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授



内容: 日本は、一般的に、地震大国と言われ、非常に多くの地震が国内で頻繁に発生しています。そのため、地震データの分析は重要な研究領域であるとされます。この研究ではネットワーク化された没入型ディスプレイを用い、データベース内に蓄積された地震データを3次元仮想環境を用いて可視化を行う(画像参照)ことで、インタラクティブなデータ分析や現象の解析を行います。また可視化されたデータを遠隔地間で共有することで没入感の高い協調作業空間を構築することができます。

【SDMデモンストレーション】

タイトル : 次世代メガネなし立体モニター

研究代表者: 醍醐 博明 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

内容: メガネなしで立体映像が見え、左右視差映像の反転現象がなく、立体映像と通常映像の映像信号が再生可能な立体モニターです。既存のビデオシステムや、PCシステムに接続でき、家庭用および教育用立体映像モニターとしても活用可能な、医療用・教育用・民生用の次世代立体映像コンテンツ標準化推進の基本システムです。

【KMD プロジェクト紹介、展示物紹介】

タイトル：PETIMO (ペティモ)

研究代表者：エイドリアン・チェオク 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授
NUS Mixed Reality Lab.



このプロジェクトでは、ユビキタス技術に基づく新しいコミュニケーションスタイルの研究、創造を目的としています。

"PETIMO"は、リアル世界のインタラクションロボット Toy と、3D 仮想空間のアバターキャラクターによる次世代コミュニケーションツールです。KAWAII キャラクター Toy "PETIMO"は、子供たちを安全で快適な SNS (Social Networking Service) 空間へご案内します。

タイトル： Medical project

研究代表者名：奥出 直人 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授



このリアルプロジェクトは、地域医療連携の問題を通じた Social Innovation の実現を目標にしています。病院からの退院を支援する Web サービスと、在宅医療・介護を支援する機器を「デザイン思考」という新しい手法を使い開発しています。大学病院や医師会、開業医、企業などにご協力いただき、私たちの生活を支える医療と介護の仕組みをデザインし直し、21世紀の成熟社会にふさわしい、ライフスタイルや生活空間を提案していきます。

タイトル：フリミフラズミ

制作者：塚原 康仁 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科



内容：フリミフラズミとは、室内空間の中で、灯りやサウンドなどを用いて、私たちに雨の気配を気付かせてくれる照明デバイスです。このデバイスは気象センサを使用した Web 上で配信されている予報データを利用し、リアルタイムの気象情報を抽出してそのデータに呼応した灯りのパターンやサウンドなど様々な効果を作り出します。部屋にいながらにして外の天候を感じ取ることができる照明デバイスです。

タイトル：雨刀

制作者：勝本 雄一郎 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科



内容：雨刀(あまがたな)は、自らが振り回すことで、チャンバラサウンドが響くようにできています。このチャンバラサウンドは、刀の振り方に応じて「弱・中・強」の三種に変化するところが特徴です。見た目はビニール傘ですが(傘としても使用可能)、巧みに振りさばくことで、五種類の連続技を繰り出したかのようなサラウンドを出すこともできます。

タイトル：panavi

制作者：生井 みづき 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科



内容： panavi は、家庭のキッチンでプロの味わいを再現するための調理学習システムで、センサー・アクチュエータ・無線通信機能を内蔵したフライパンと、フライパンから送られる情報を処理するコンピュータ・システムで構成されます。このシステムが適切な温度や時間・工程の管理、味付け、フライパンの動かし方などを調理者にナビゲートし、プロが経験的に身につけている感覚と技を学習することを支援します。

タイトル：Sound Candy

制作者：石橋 秀一 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科



内容：サウンドキャンディは身の回りの音と動きを利用して自分たちだけの遊び場を作ることができる道具です。サウンドキャンディを身の回りの物に付けて動かすことで、録音した音を多様に变化させて遊ぶことができます。

=====
取材についてのお願い

取材いただく場合、ご面倒ですが10月23日(金)正午時までに慶應義塾広報室あてに、別紙申し込み用紙にて会社名、取材担当者名、人数、カメラの有無をご連絡ください。当日の式次第や場所のご案内、ご注意頂きたい事項等については、当日受付後に慶應義塾広報室よりご説明いたします。

当日は10:45~11:15までに日吉キャンパス協生館3階CDFルームにて受付をおすませください。

取材の際、電源の供給等はできません。また車両入構に関しては事前申請が必要となります。あらかじめご了承ください。

研究に関する個別の質問、取材などにつきましては13:00~14:00の間で担当研究者が対応可能です。広報室員にご相談ください。

(参考)

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 <http://www.sdm.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 <http://www.kmd.keio.ac.jp/jp/>

*本資料は、文部科学記者会、各紙社会部、産業部・経済部・横浜支局・国際部、在日海外メディアなどに送らせていただいております。

ご取材の際には、事前に下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 担当：森口、藤戸、兒玉

TEL: 03-5427-1541 FAX: 03-5441-7640 E-mail: m-koho@adst.keio.ac.jp URL: <http://www.keio.ac.jp/>

